

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成21年度第1回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	平成21年7月31日(金) 午後6時00分から午後8時00分まで		
開催場所	小金井市内		
出席者	委員	<出席者; 12名> 大江会長、庄司副会長、竹内委員、清水委員、佐藤委員、恩田委員、 鴨下委員、澤島委員、伊藤委員、川口委員、 簀口委員、原委員 <欠席者; 3名> 本木委員、平林委員、小島委員	
	事務局	ごみ対策課; 深沢環境部長、 三上ごみ処理施設担当部長 鈴木ごみ 対策課長 三浦ごみ処理施設担当課長 柿崎ごみ対策課長補佐 藤 本ごみ処理施設担当課長補佐 吉沢中間処理場担当課長補佐 井上 中福 府川 千賀	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	—
会議次第	1 報告事項 ア 平成20年度可燃ごみ処理の状況について イ 平成21年度可燃ごみ処理に係る支援の状況について ウ 新ごみ処理施設建設事業の進捗状況について 2 ごみ・資源物処理量及び平成20年度廃棄物会計について 3 平成21年度一般廃棄物処理計画に掲げた新たなごみ減量施策の 実施状況について		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他	次回開催予定 平成21年9月24日(木) 801会議室		

審議過程（主たる発言等）

大江会長	<p>開会 事務局の人事異動について報告をお願いします。</p>
深澤環境部長	<p>人事異動について次のとおり報告する。 ごみ対策課長補佐 柿崎 健一 ごみ処理施設担当課長補佐 藤本 裕 中間処理場担当課長補佐 吉沢 富士夫</p>
大江会長	<p>議題に入る 配布資料について説明をお願いします。</p>
千賀係長	<p>配布資料について説明</p>
大江会長	<p>報告事項に入る。 報告事項ア、イ、ウについて説明をお願いします。</p>
三浦課長	<p>「ア 平成 20 年度の可燃ごみ処理の状況について」市報 7 月 15 日号ごみ減量・リサイクル特集号により説明 平成 19 年度に引き続き当初 8 団体をお願いしていたが、平成 21 年 2 月、新ごみ処理施設建設場所の決定を延期したことから、一部の団体で可燃ごみ搬入を中断されることとなった。よって、3 月分は、土曜日の対応を多摩川衛生組合に緊急対応としてお願いし、全部で 9 団体に処理を依頼したこととなった。 各施設への搬入量は市報掲載のとおりである。 ご支援をいただいた関係市・町団体、また、施設周辺の住民の方々に深く感謝する。</p> <p>「イ 平成 21 年度の可燃ごみ処理にかかる支援の状況について」資料を基に説明 平成 21 年 2 月までに、新ごみ処理施設建設場所の決定をできなかったことから広域支援という枠組みでの支援を受けることができなくなった。 しかし、国分寺市に対しては一年間の支援の延長をお願いし、また、東京都の支援をいただきながらその他の団体にも支援のお願いをしてきた。 このような状況の下、東京都市長会会長市の八王子市に緊急避難的な形で 4 月 1 日から受け入れをお願いできることとなり、副会長市の昭島市にも支援をお願いできることとなった。 その後、国分寺市においては人道的支援として、土曜日収集の対応として多摩川衛生組合にも支援をお願いできることとなった。 その後、6 月から日野市、三鷹市が 7 月中旬から 9 月中旬までの支援をお願い</p>

	<p>いできることとなり、当面は滞りなく処理することが可能となった。</p> <p>しかし、年間発生見込み量の全量の処理先の確保ができていないわけではなく、引き続き多摩地域の各団体に支援のお願いをしていく。</p> <p>今後、状況の変化については、適宜本委員会に報告するのでご理解いただきたい。</p> <p>「ウ 新ごみ処理施設建設事業の進捗状況について」説明する。</p> <p>新ごみ処理施設の建設場所については、東京都の指導をいただきながら関係市と協議を進め平成 21 年度中には一定の結論を得られるよう努力している。</p> <p>本市としては、二枚橋焼却場用地に新ごみ処理を施設する考えに変更は無い。本年 2 月に建設場所の決定が困難になったものの、東京都の調整という新たな展開があったことから、都が設けた協議の場において関係市間の協議を経て調布市、府中市の理解を得て建設場所の決定を行っていきたいと考える。</p> <p>また、直近の状況として 7 月 13 日二枚橋衛生組合議会の状況について報告させていただく。</p> <p>二枚橋焼却場の炉の停止から 2 年余り経過しており、組合解散にあたって、清算事務に一定の区切りをつける時期にきている。解散後の事務を承継する管理者の市である小金井市が業務を引き継ぎ、平成 21 年度末の解散の実現に勤めるという趣旨の管理者報告がされ、その中で次ぎの 4 点が報告された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成 21 年度に組合を解散する。 2 解散後の事務及び施設の解体等は管理者の市である小金井市が行う。 3 土地については、一画地として等積で三分割する。 4 組合解散後の事務及び解体等にかかる経費については、各市 1/3 ずつの負担を原則とする。 <p>これをうけて、組合議会では 8 月の臨時議会で 4 点の詳細報告を行うことを含め、この報告が了承された。</p> <p>本市としては、調布市、府中市はじめ、東京都を含めた各関係機関と地方自治法に基づく一部事務組合の解散方法、廃棄物処理法に基づく施設解体等に係る調整を進めており節目ごとに本委員会に報告させていただく。</p>
大江会長	質問、意見等あるか。
庄司副会長	<p>清算について、3 分割するとのことであるが、その清算の行為と二枚橋焼却場用地が新ごみ処理施設の建設場所の予定地になっていることとは別件として進められているのか。将来の予定地は小金井市が取得することを前提に考えているのか。現在も分割前の用地全体を前提と考えているのか確認したい。</p>
三浦課長	<p>清算業務については跡地利用とは別と考えており、組合解散の事務手続きを進めている。</p>

	<p>用地について、平成 21 年 1 月、調布市、府中市に対し「用地全体を使いたい」旨文書で申し入れをした。現時点では二枚橋用地全体を活用したいと考える。</p>
伊藤委員	<p>支援状況について、国分寺市、三鷹市の委託期間が 9 月中で、あと 2 か月しかないがその先の予定はどうか。</p>
深澤部長	<p>国分寺市については、9 月以降も支援していただけるよう協議を進めている。 三鷹市については、市長会の申し合わせ事項に基づき、隣接市でもあり 2 か月半ということをお願いしている。</p> <p>現時点で 6 施設をお願いしており合計 12,050 t である。本年度の本市のごみの発生見込み量は約 16,000 t を予定している。20 年度は 16,084t である。 現在の契約していただいている 12,050 t との差が不足していることとなる。</p>
竹内委員	<p>敷地を 3 分割するということであるが、全体の面積と 3 分割した面積とどのくらい違うのか。</p>
三浦課長	<p>全体では 11,000 m²、市域に関係なく 3 分割すると約 3,700 m²である。</p>
佐藤委員	<p>処理委託料について、各団体に差があるのはなぜか。</p>
深澤部長	<p>団体から示された額である。 各施設とも施設の耐用年数とか償還金額が残っているとか個別の事情があり、それら含めて各施設で処理単価を積算し示された金額である。</p>
大江会長	<p>三鷹市の実績が 0 t であるがなぜか。</p>
深澤部長	<p>7 月 20 日から搬入を開始していただいております、6 月 30 日現在の資料であるため 0 t となっている。7 月 20 日からは月曜～金曜まで毎日搬入させていただいている。</p>
大江会長	<p>了解した。他に質問等あるか。</p>
原委員	<p>施設までの運搬に係る経費はどこに計上されているか。</p>
深澤部長	<p>その前に、これまでの経緯について説明させていただく。 平成 19 年 3 月二枚橋焼却場の炉が停止し、4 月からは広域支援により各団体に処理していただいていた。お願いするにあたっては、国分寺市との共同処理に向けて準備をしているということで「多摩地域ごみ処理広域支援体制実施</p>

	<p>要綱」に基づき広域支援により各団体をお願いしてきた経過がある。平成 20 年度についても同様である。</p> <p>しかし、平成 20 年度 2 月建設場所を決定できなかったことにより西多摩衛生組合、柳泉園組合については、「多摩地域ごみ処理広域支援体制実施要綱」による支援は打ち切りとなり、他の団体については 3 月 31 日まで処理していただいた経過があった。</p> <p>そういう状況の下、21 年 4 月 1 日以降支援いただいている団体は、小金井市の状況を理解していただき、人道的、緊急的支援という形で処理していただいている。今後もこのような形をお願いしていかなければいけないが、本市としては、一日も早く建設場所を決定し本来の要綱による協定に基づく支援をしていただけるようにしたいと考える。</p> <p>こういう経緯について是非ご理解をいただきたい。</p> <p>原委員のご質問の「運搬に係る経費はどこに計上されているか。」であるが、予算の収集運搬委託料の中で組んでいる。市報ごみ減量・リサイクル特集号の中では 4 ページの表「収集運経費」の中に含まれている。広域支援により、遠くの処理施設まで運搬することによって経費がかかることとなり、平成 18 年度と比較すると約 1 億円ぐらいの増額となっている。</p> <p>二枚橋衛生組合での処理経費は 25,000 円/t～26,000 円/t ぐらいであったが、現在、平均単価は 45,000 円/t ぐらいになっている。収集運搬と併せ、全体で約 5 億円アップしている。</p> <p>また、二枚橋衛生組合の建物は約 40 年経過しており、償還金等も終わっている。その点では処理経費は安かった。小金井市が新ごみ処理施設を建設した場合、償還金等も発生し、処理単価は 40,000 円ぐらいで済むかどうかという問題はある。このこともご理解いただきたい。</p>
大江会長	<p>他に質問はあるか。</p> <p>(2)のごみ・資源物処理量及び平成 20 年度廃棄物会計について説明願いたい。</p>
府川主任	<p>市報 7 月 15 日号ごみ減量・リサイクル特集号により「ごみ・資源物処理量」について説明。</p>
大江会長	<p>質問、意見等はあるか。</p>
庄司副会長	<p>不燃ごみの埋め立て量が増えているが理由は何か。</p>
吉沢課長補佐	<p>プラスチックごみの分別が進んだことが主な原因だと思う。</p> <p>清掃指導員が収集車の後について、分別が悪いところを指導しており、そのためプラスチックの量が減り埋め立てごみの量が増えている。</p> <p>容リ協会に行くプラスチックの質がよくなり、ランクが D から B になった。</p>

	<p>そのような状況から分別が進み、埋め立て量が増えたと考える。</p> <p>平成 20 年度からプラスチックの分別排出指導の徹底を図っている。これまでプラスチックに混入していた不燃ごみが指導によって分別され、不燃ごみが増える結果となっている。</p>
庄司副会長	<p>ごみ全体の量は変わらないということか。</p> <p>今まで、プラスチックごみに混入していた不燃ごみは一旦容り協会に引き取られるので、小金井市の不燃ごみとしてカウントされてなかったということか。</p>
鈴木課長	<p>そのとおり。</p>
庄司副会長	<p>事業系可燃ごみが大幅に減っているが、処理支援施設以外にも流れている可能性についてどう考えているか。</p>
深沢部長	<p>減った理由としては、事業系可燃ごみの処理手数料を改定し、処理単価をアップした。平成 19 年 10 月には持ち込み分について、20 円/kg を 38 円/kg にし、平成 20 年 12 月には 38 円/kg を 55 円/kg とかなり大幅なアップをした。そういう中で、事業系可燃ごみの減量が進んでいる。単価アップが減量の理由になっていると思う。</p> <p>ごみ減量していただいている部分と、持ち込み分については、処理支援施設に持ち込まずに自己処理している事業所もある。</p>
庄司副会長	<p>持ち込み分の手数料は国分寺市に入るのか。</p>
深沢部長	<p>搬入業者には小金井市から 55 円/kg で搬入量分の請求をする。小金井市は、国分寺市に委託料として 42,000 円/t の処理経費を払っている。55 円と 42 円の差は焼却灰のエコセメント事業にかかる経費である。</p>
大江会長	<p>平成 20 年度は寄居町（オリックス）に運んだ分はなかったのか。あればどのくらいか。</p>
府川主任	<p>総発生量でプラスチックごみが 2,169 t ある。これについて資源化处理とし最終的に寄居町と容り協会とに分かれる。</p>
大江会長	<p>どのくらいの割合か。</p>
深沢部長	<p>少しお時間をいただきたい。</p>

佐藤委員	<p>商工会では商業者が寄居町に持っていくことについて、小金井市の可燃ごみ処理量を減らすためにどうかと提案したことがある。商業者の方々は東町でも、本町の商店会の方でも出していると思うが、それを市が把握していればわかるのではないか。</p>
大江会長	<p>それは市で、把握してないのではないか。 市としては、持って行っているのもあるのではないかということである。</p>
大江会長	<p>次に「平成 20 年度廃棄物会計」について説明願いたい。</p>
府川主任	<p>市報 7 月 15 日号ごみ減量・リサイクル特集号により「平成 20 年度廃棄物会計」について説明。</p>
大江会長	<p>質問はあるか。</p>
庄司副会長	<p>計算方法は、一昨年環境省が出した基準に基づくものか、それとも市独自の方法か。</p>
府川主任	<p>市独自の従来からの方法である。</p>
大江会長	<p>環境省が出した算出基準に合わせる不都合性はあるのか。</p>
府川主任	<p>今回は市独自の方法で行ったが、今後、環境省の算出基準を研究し、できるかどうか考えてみたい。</p>
大江会長	<p>小金井市は、廃棄物会計に先頭切って取り組んでいた。その中で国の統一的な試みが始まった。小金井市が、国の統一基準との比較も含めてやっていくと中身が見えてきて比較などもできると思う。 他に質問はあるか。</p>
庄司副会長	<p>市として独自の方法で廃棄物会計を行っているが、継続的に実施しているという上では同じ尺度での年次比較ができるので、その資料が欲しい。主だった数項目ぐらいでよいが、変化がわかるのでお願いしたい。</p>
大江会長	<p>「し尿処理を除く。」とあるが、どのくらいあるのか。</p>
府川主任	<p>現在「ごみ・資源物処理経費」を作成したところであり、「し尿処理経費」の数字については今、つかんでない状況である。</p>

大江会長	ごみの種別によって経費のかかり具合がかなり違うのにはびっくりする。
佐藤委員	し尿処理はどのくらいあるのか。また、古紙、缶について、処理手数料を払うときもあるだろうし、入金もあると思うが差し引いての金額なのか。
鈴木課長	家庭し尿がまだ数件残っている。また、工事現場の仮設トイレの汲み取りがある。平成 21 年度の処理量としては処理計画の中で 86kℓを想定している。
府川主任	歳入は除いて計算している。
大江会長	たとえば「缶 7.3 円」というのも歳入は差し引いてないのか。
府川主任	あくまでも掛かった経費のみを計算したものであり、歳入は入れてない。
大江会長	ごみ・資源物の処理経費総額約 28 億円から歳入分約 5 億円を引いたのが実際の処理経費ということか。
深澤部長	処理経費のみの積算になっており、歳入部分は見えてない形となっている。
大江会長	有価物売り払い収入は入ってないということか。
佐藤委員	市民にとっては、資源物の回収量とその歳入を知らせたほうが励みになる。
大江会長	歳入の内訳の中で「可燃・不燃ごみ有価物売り払い収入」として合計は出ている。一括で出ていても品目によって歳入に係わるもの、そうでないものがあるので差し引きで出せば、ずいぶん違う結果になると思う。
鈴木課長	来年度以降の廃棄物会計の中で検討していきたいと思う。
大江会長	他に意見はあるか。
原委員	全体的に見易く、わかり易くできている。
井上係長	先ほどのご質問の寄居町に搬入している量について報告する。 プラスチックごみとして回収したものを容り法に基づくものとそれ以外のものに分別し、それ以外のものとして 602 t、また、破碎後の燃やさないごみ及び粗大ごみを 1253 t、合計 1,855 t となる。 全量資源化されており、ごみ減量・リサイクル特集号の円グラフ、「固形燃料化等」の中に入っている。

大江会長	<p>固形燃料化等資源化量の約半分ぐらいは寄居町に行っているということとなる。</p> <p>他に質問はあるか。</p> <p>「平成 21 年度一般廃棄物処理計画に掲げた新たなごみ減量施策の実施状況」について説明願いたい。</p>
千賀係長	<p>資料「平成 21 年度一般廃棄物処理計画に掲げた新たなごみ減量施策の実施状況」により説明。</p>
大江会長	<p>質問はあるか。</p>
伊藤委員	<p>生徒、児童に「ごみ減量」について訴えた後、みんながどう感じ、学年、学校でどう広げるか、また、家庭に帰って家族にどう伝えるかなどの事後指導に力を入れてほしい。</p>
鈴木課長	<p>9 月以降の実施となるが、生徒、児童を対象に指導したあと、そのフォローとして学校と協議しながら実施していきたい。</p>
清水委員	<p>「こきんちゃんのマイバッグ」について、使いにくいと思う。重量もあり、染みになったときの洗濯に耐えられない。エコにならないのではないか。</p>
原委員	<p>ちょっとかさ張るのではないか。</p>
鈴木課長	<p>事務局としては一番よいものを、と考えて作製したものであるが、ご意見を参考にしたい。</p>
大江会長	<p>事業者に対する生ごみ処理機の補助について P R 等どう考えているか。</p>
鈴木課長	<p>大規模事業所、中・小事業所が対象であるが、ごみの排出指導を実施していく中で P R を予定している。</p>
大江会長	<p>他に意見はあるか。</p> <p>「その他」について事務局から説明願いたい。</p>
深澤部長	<p>平成 21 年度廃棄物減量等推進審議会のスケジュールについて説明する。</p>

	<p>本年度、廃棄物減量等推進審議会の開催を7回予定している。</p> <p>「平成22年度一般廃棄物処理計画」の諮問、また、「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の見直しがあり、その準備が必要である。そのためスケジュールとして次のようにお願いしたいと考えている。</p> <p>第2回 9月 「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」前期5か年の計画に対する実施状況の報告</p> <p>第3回 10月 「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」後期5年で何をすべきか、ご議論いただきたい。</p> <p>第4回 11月 「平成22年度一般廃棄物処理計画」（素案）をお示しし、諮問をさせていただきたい。</p> <p>第5回は1月、第6回は2月、第7回は3月で諮問についてご審議いただき答申をいただきたい。</p> <p>このようなスケジュールでよろしくお願いしたい。</p>
大江会長	<p>23年度から5年間の計画を立てていく基本計画、及び毎年度の一般廃棄物処理計画がある、ごみ処理について、なかなか見通しが見つからない厳しい状況の中で方向性を出していくのは難しさがあるが、本年度の課題である。</p> <p>「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の見直しを21年度22年度でやるということか。</p>
深澤部長	<p>18年3月策定し、22年度で前期5年が終了することとなる。21年度22年度にかけて前期に5年間の実績を確認しながら、後期の見直しにつなげていきたいと考える。計画では一定の目標をたてているが、現状は目標より進んでいる状況がある。数値については、まとめ事前に委員の方々にお送りしお示しするので、見ていただいたうえで、審議会の中でご議論いただきたい。</p>
大江会長	<p>次回日程 9月24日（木）6:00～ 801会議室</p> <p>第3回日程 10月29日（木）6:00～ 場所未定</p> <p>その他何かあるか</p>
簗口委員	<p>マヨネーズなどは洗剤を使い、水を使って洗うことに少し抵抗を感じる。埋め立てごみに出したほうがよいのか、地球環境にはどっちがよいのかと思う。</p>
鈴木課長	<p>中間処理場の周辺の住民の方々に臭気の点でご迷惑がかかるのを防ぐため洗って出させていただくようお願いしている。</p>
深澤部長	<p>ご指摘いただいた点は事実だが、資源化を進めていくという点では使い切って洗って出させていただくことをお願いしたい。</p>

大江会長	基本としてはそうだが、痛んだものが半分残ったらどうするのか。
鈴木課長	紙でぬぐって紙は可燃ごみへ、残りの容器は洗ってプラスチックごみへ入れていただきたい。
竹内委員	事業所で生ごみ減量化処理機器購入費補助金を希望しているところがあると聞いているが相談に来るよう伝えたい。
鈴木課長	よろしくご協力をお願いしたい。
大江会長	閉会

平成21年7月31日

平成21年度第1回小金井市廃棄物減量等推進審議会次第

1 開会

2 議題

(1) 報告事項

- ア 平成20年度の可燃ごみ処理の状況について
- イ 平成21年度可燃ごみ処理に係る支援の状況について
- ウ 新ごみ処理施設建設事業の進捗状況について

(2) ごみ・資源物処理量及び平成20年度廃棄物会計について

(3) 平成21年度一般廃棄物処理計画に掲げた新たなごみ減量施策の実施状況について

(4) その他

平成21年度 可燃ごみ処理の支援状況について

単位：t

支援先	処理委託期間	処理委託料 (円/t)	処理委託 契約量	6月30日までの 搬入実績量	備 考 (構成市等)
八王子市 (第1ブロック)	平成21年4月1日～ 平成22年3月31日 (6月を除く)	40,000	3,100	827	
昭島市 (第1ブロック)	平成21年4月1日～ 平成22年3月31日	48,000	1,700	1,026	
国分寺市 (第2ブロック)	平成21年4月10日～ 平成21年9月30日	42,000	2,000	883	
多摩川衛生組合 (第2ブロック)	平成21年4月25日～ 平成22年3月31日	48,000	2,000	495	稲城市・狛江市・府中市・国立市 (搬入は土曜日のみ)
日野市 (第1ブロック)	平成21年6月1日～ 平成22年3月31日	45,000	2,250	365	
三鷹市 (第2ブロック)	平成21年7月20日～ 平成21年9月18日	42,000	1,000	0	
合 計			12,050	3,596	

平成21年度一般廃棄物処理計画に掲げた新たなごみ減量施策の実施状況について

施策の内容	実 施 状 況	予算措置	対応時期
「市民が考えるごみ減量アイデア」を募集するなど多種多様な減量施策の展開と市民主体の減量活動の推進	○ 市報ごみ・リサイクル特集号7月15日号で募集中 内容： 各家庭で継続的に行っている取組みや工夫していること 期限： 8月7日 9月15日号で紹介	なし	
事業者に対する生ごみ減量化処理機器購入費補助金の適用	○ 大規模事業所からの相談が1件あった。 ○ 中・小規模の事業所においても（事務所、食堂等）を中心にごみ排出指導等の際にPRをする。	1,000,000 円 × 20 件	随時
転入者へマイバッグを配布することによるレジ袋の削減	○ こきんちゃんのマイバッグを作製し、市民課で配布している。	310 円 * 5000 枚	6 月から
ペットボトルキャップの拠点回収の実施	399.8kg (4月～6月)	なし	4 月から
市内小中学校児童・生徒を対象にごみの発生抑制と減量に関する啓発の実施及び環境問題に対する意識の向上を図る。	○ 7/2 の校長会で「ごみに関する出前講座の実施について」を文書で依頼した。 * 期間：9月1日～22年3月31日 * 時間：各1単位時間または2単位時間 * 対象：各学校とも学校が希望する1学年のみ * 内容：「ごみの発生抑制と減量啓発について」	なし	9 月から